

# 事例 4

# 貴金属装身具製作

技



ものづくりマイスター派遣先

## 山梨県立峡南高等学校

〒409-3117 山梨県南巨摩郡身延町三沢 2417

### 概要

(H28.7 取材当時)

学校長 向山 豊隆

創立・沿革 大正12年 久那土村外7ヶ村組合立峡南農工学校開校

平成1~2年 文部省指定奉仕等体験学習研究推進校

平成17年 平成17・18年度文科省指定 みんなの専門高校プロジェクト研究推進校

平成23年 スーパー専門高校モデル事業 (目指せスペシャリスト) 研究発表  
平成25年 クラフト科・土木システム科を設置

学科 電子機械科(M科)、クラフト科(F科)、土木システム科(C科)

卒業生総数 11,424名

教職員数 69名

## ものづくりマイスターが学校に出向いてくれるありがたい制度

山梨県の工業教育部会で、地域技能振興コーナーの担当者から「ものづくりマイスター制度」ができたことの説明を受けました。「ものづくりマイスター制度」が始まった平成25年度に本校にクラフト科ができたことから、技能検定の課題を活用した実技指導を受けられる「ものづくりマイスター制度」を活用したいと思い、地域技能振興コーナーに派遣依頼をしました。



小池マイスターの指導の様子

### カリキュラム

	指導日	指導内容
1	11/29	ヤスリがけや糸のこ作業の基本動作の実演と作業ポイントの説明
2	12/13	基本動作の繰り返し訓練(ヤスリ、キサゲ)
3	12/20	材料の曲げ加工・パーツ同士の溶接(ロー付)の基本動作の実演と作業ポイントの説明
4	12/27	基本動作の繰り返し訓練(曲げ加工・溶接)
5	1/7	実際の課題製作指導(手順の習得をさせる)
6	1/10	同上(極力丁寧な作業をさせる)
7	1/17	同上(徐々に無駄な作業の排除をさせる)
8	1/24	制限時間を意識した通し練習
9	1/31	同上(各作業工程の無駄な動作や雑作業の明確化と改善の実施)
10	2/7	同上(出来上がった品物を評価し今後の課題を伝達)

期間	平成27年11月~平成28年2月
実施場所	山梨県立峡南高等学校
受講者数	2名

## 好奇心と継続する才能こそが大切

### ● ● ● 自分が作ることを想像して 工程表をまとめました

山梨県は宝石貴金属関係の工業が盛んで、貴金属装身具製作は地場産業としての性格を持っています。そうした地場産業のための人材育成ということから、自分に派遣要請があったのだらうと思います。

技能検定の課題をしっかりと身につけていれば実力がつくと思い、五十嵐先生と相談のうえ技能検定2級課題を活用した指導をしました。

普段、職場で職人を指導することはあっても、生徒に教える機会は、これまでありませんでした。そのため、最初はいろいろと模索しながら指導を行いました。が、「自分が課題を作るときは、どのようにするだろう」と想像しながら、工程表(手順書)をまとめて教えることにしました。

### ● ● ● 寸法確認はまず生徒自らが 採点してみる方法で

初めは生徒さんたちにまったく知識がなかったの、ノギスの持ち方・測り方、やすりの持ち方、ろう付けの仕方など、そもそも「ジュエリーとは何か」を教えるところから始めました。また、寸法の測り方、確認の仕方については、生徒たち自らがまず採点してみるという方法をとったうえで私が確認するなどの工夫をしました。これによって、寸法の確認のスキルがかなり向上したのではないかと思います。

### ● ● ● 成功体験を経ながら 成長していく姿は印象的

初めは時間をかけてじっくり作っていきながら、

次第に時間が短くなって精度も上がってくるようになりました。そうするうちに、生徒たちの目が変わってきました。真剣さが違ってきたのです。初めは、やる気があるのかないのか分からないような状態であったものが、次第に真剣さが現れ、楽しく取り組んでいる様子を見ることができました。短期間のうちでも、成功体験を経ながら成長していく姿は印象的でした。いつの日か、指導した生徒たちが技能五輪に出場したり、就職してから技能グランプリに出場して入賞できるようにすることなどを夢見ています。

### ● ● ● 指導を受ける生徒も 何か肌で感じるものがあると思います

業界においては人材育成・人材確保というのは非常に大事な課題となっています。高校生くらいの世代で興味を持っている人たちが積極的にものづくりマイスターの指導を受けるというのは非常に良いことだと思います。職人であるものづくりマイスターが実践的な立場で生徒に指導するのは、指導を受ける生徒としても、何か肌で感じるものがあると思います。スピード感などはまったく違うと思います。「ものづくりマイスター制度」というのは、とても良い制度なので、いつまでも続けていってほしいと思っています。

ものづくりマイスター

小池 浄 (こいけ きよし)

昭和44年12月24日生まれ

平成12年度 1級技能士 貴金属装身具製作(貴金属装身具製作作業)取得

平成15年度 技能グランプリ第1位

平成26年度 厚生労働省ものづくりマイスター(貴金属装身具製作)認定



## 現場でものづくりを実践しているマイスターに 生徒を直接指導していただける

### ものづくりマイスターが 学校に来て指導をしてくれる

自分たちで生徒を連れてものづくりマイスターのところに出向くのではなく、ものづくりマイスターが自分たちの学校に来て指導してくれるというのは、「ものづくりマイスター制度」の大きな利点だと思います。最初は、県内に貴金属装身具製作のものづくりマイスターがいないとのことだったので、熟練技能者に指導をお願いしていましたが、次の年から小池マイスターに指導をしていただいています。

### 「ものづくりマイスター制度」における 支援体制が充実

「ものづくりマイスター制度」の導入に当たっては、学校内では非常にスムーズに了解が得られました。前校長のときから、技能検定を受検することを積極的に推奨していることもあって、ものづくりマイスターの受入れには理解が得られやすかったです。

「ものづくりマイスター制度」の最大のメリットは、現場でものづくりを実践されているものづくりマイスターに生徒を指導していただけるという点にあると思います。これはとても貴重なものです。また、地域技能振興コーナーがものづくりマイスターの派遣に際して、きめ細かくコーディネートをしてくれる点はとても助かります。また、材料費が一定の範囲内で補助してもらえる点は、生徒たちにとってとても助かっています。この制度がずっと続いてくれればありがたいです。



小池マイスターの指導の様子



五十嵐 智則 教諭

### 受け入れる側での環境整備と 事前調整も大切

ものづくりマイスターにせっかく来ていただくのなら、生徒たちが休まずにきちんと指導を受けられるような環境をつくるのが大事でしょう。そして、限られた時間内でできるだけ多くのことをものづくりマイスターから指導してもらえるように、ものづくりマイスターとしっかりコミュニケーションをとることも大切だと思います。また、ものづくりマイスターによって指導方法が異なることで、生徒たちが混乱しないように、うまく調整することも必要だと思いました。

一方、生徒が、できるだけ時間内に完成品が作れるように、時間と作品の完成度との関連を意識できるように、今後も、ものづくりマイスターと相談しながら指導していきたいです。生徒には当然能力差がありますので、その点の調整をものづくりマイスターと相談していくことも大事だと思います。



## 受講者の声

# 職人ならではの特別な技術とかやり方とか裏技のようなものを教えてもらえる

### ● ● ● 「これが人間の手でできるものなのか」と感動

昔からものを作る  
こと、特に細かい作業  
をすることが好きでし  
た。先生から技能検  
定受検を目標にする  
ことを勧められ、最初  
は熟練技能者の指導  
を受けました。その  
後、小池マイスター



櫻田 絵理香さん

から指導を受けたのですが、とにかく見るものすべてがすごいなあと思いました。検定の課題を使った基礎的な指導などが中心でしたが、小池マイスターが普段仕事で製作しているものを見せていただいた時、「これが人間の手でできるものなのか」と感動してしまいました。

### ● ● ● ものづくりマイスターが工夫しているところをよく見る

五十嵐先生からは、小池マイスターの道具の置き方など、仕事をやりやすくしているところ、工夫しているところをよく見ておくように言われました。また、どれくらいの力を入れてやすりをかけるとどれくらい削れるのか、計測ばかりしていると時間がなくなってしまうので、そういうところをよく頭に入れておくようにとも言われていました。実際、小池マイスターのやり方を見るとそういうところが非常にうまく、「さすが、マイ

スター!」と思いました。

### ● ● ● 小池マイスターの指導が自分にとっての経験や知識の蓄えに

学校の先生と小池マイスターの違いは、学校の場合には基礎的な知識などを中心に教えてくれますが、小池マイスターの場合には職人ならではの特別な技能ややり方、裏技のようなものを教えてくれるので、自分にとっての経験や知識の蓄えにもなります。就職してからも、小池マイスターから教わったことが活かせる機会が多いです。特に、会社の人も知らないようなことを知っているのと誇らしく思います。ものづくりマイスターのように、すごい人に教わる機会はとても貴重なので、分からないことはできるだけ何でも質問をしていくことが大切だと思います。分からないことを質問するのは恥ずかしいかもしれませんが、積極的に質問をすることで自分自身も成長していくのではないかと思います。



作業風景

## 地域技能振興コーナー担当者より

五十嵐先生が非常に熱心なことから、ものづくりマイスターの派遣も学校に根付いてきました。地域技能振興コーナーでは、ご要望があれば、そのニーズになるべく100パーセントお応えできるようなコーディ

ネートをいたします。気軽に、ご相談に来ていただければありがたいです。せっきくの制度ですから、皆さんが有効に利用できるように、いろいろと工夫して協力させていただきたいと考えています。